

第104回(令和7年度)全国高校サッカー選手権三重県大会要項(案)

主催 三重県高等学校体育連盟、(一社)三重県サッカー協会、三重テレビ放送株式会社

共催 三重県教育委員会

主管 三重県高等学校体育連盟サッカー専門部

1 期日 1回戦 2025年10月11日(土) 2回戦 2025年10月13日(月)
3回戦 2025年10月18日(土) 準々決勝 2025年10月25日(土)
準決勝 2025年11月 1日(土) 決勝 2025年11月 8日(土)
予備日 2025年10月19日(日)、26日(日)、11月 2日(日)

2 会場 1回戦～3回戦 NTN総合運動公園サッカー場、四日市市中央フットボール場、
三重交通Gスポーツの杜鈴鹿、海星高校、四日市中央工業高校、
伊勢フットボールヴィレッジ、松阪市総合運動公園、メイハンフィールド 等
準々決勝 伊勢フットボールヴィレッジ
準決勝 四日市市中央陸上競技場
決勝 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン)

3 参加資格

- ①2025年度日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
- ②選手は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、専門部が責任を持って調整・確認する)
- ③チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
ただし、合同チームについては別紙「部員不足による合同チームの大会参加について」参照。
- ④ア)転校後6か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、都道府県高体連会長の許可があればこの限りではない。
イ)高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6か月間は出場できない。
ウ)転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
- ⑤選手は、当該学校長の参加承諾を必要とする。
- ⑥引率者は、大会派遣期間中の生徒の引率責任(指導、法的責任)を負う

4 競技方法

- ①トーナメント方式により、優勝・準優勝を決定する。3位決定戦は行わない。
- ②試合時間は80分とし、勝敗が決しない場合は、20分間の延長を行う。尚、決しない場合は、PK方式によって次回戦に進出するチームを決定する。

5 競技規定

- ①2025-2026年日本サッカー協会制定の『競技規則』による。※脳震盪による交代枠の追加を適用する。
- ②各試合ごとの登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の中から、5名までの交代が認められる。
- ③準決勝及び決勝については、80分間の交代回数は、各チーム最大3回とする(1回に複数人を交代することは可能)。ただしハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
- ④延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる(直前の80分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる)。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。

6 懲罰

- ①本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- ②規律委員会は、2種委員長、2種副委員長、2種審判委員長、2種技術委員長で構成する。
- ③本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に登録することができない。
- ④本大会中において、退場を命ぜられた者は、次の1試合は登録することができない。
それ以降の処置については、大会規律委員会において処置を決定する。

7 組合せ(シード)について

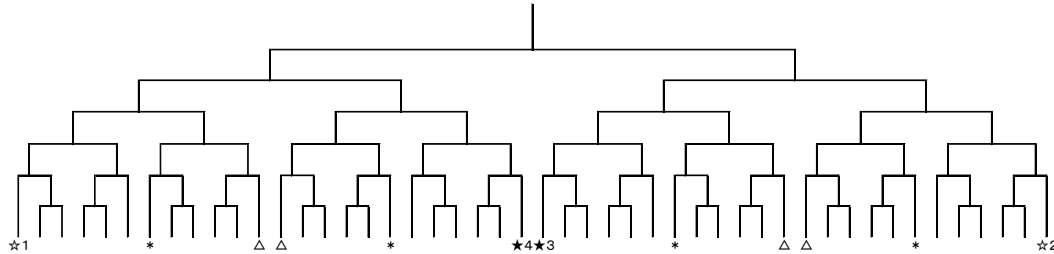
第1シード：県リーグ最上位校と県総体優勝校が、抽選で☆1・☆2に入る(1校になる場合がある)

第2シード：県リーグ2位校と県総体準優勝校が、抽選で★3・★4に入る（☆2・★3になる場合や、1校になる場合がある）

第3シード：第1・第2シードで★4までに空きがある場合、県リーグの順位に準じて★4まで埋める

第4シード:第1～第3シード校を除く県リーグの順位に準じた4校が、抽選で△に入る

第5シード：第1～第4シード校を除く県総体3位校(2校)は、抽選で県リーグで下位のチームの入った△と同一ブロックの＊に入る。



8 参加申込み

- ①参加不参加連絡用紙:所定の申込用紙にて、申し込むこと。
 〆切 2025年 7月 3日(木)必着 申込先 各地区委員
- ②大会参加申込み:所定の申込用紙にて、申し込むこと。
 〆切 2025年 7月17日(木)必着 申込先 各地区委員

9 表彰

優勝以下、第3位チームまでを表彰する。

10 選手の用具

- ①本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ②正・副の2色については明確に異なる色(ユニフォームシャツは黒色系統は不可)とする。
- ③主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける場合、同色系または透明なものとする。また、外部にサポーター等を着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥アンダーシャツの色はユニフォームシャツに使用されている色のものを着用する。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑦アンダーショーツおよびタイツの色はユニフォームショーツに使用されている色のものを着用する。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑧キャプテンはアームバンドを着用しなければならない。
アームバンドの色や文字、デザインについては問わない。(単色でなくてもよい。)ただし、柔らかく、軽い材質でできているものに限る。

11 その他

- ①大会中の傷害等の応急処置は本部で行うが、以後の責任は負わない。
- ②雨天決行とする。(ただし、朝6:00の段階で暴風警報・暴風雪警報・特別警報・地震警戒宣言が発令されている場合、競技は中止とする。その後警報・警戒宣言が解除された場合、大会役員、引率職員および関係者と開催について協議する。)
- ③優勝校は第104回全国高校サッカー選手権大会の出場権を獲得する。
- ④副審は審判服を着用すること。